

平成20年度

苫小牧市立病院経営改革プラン評価報告書

平成22年2月

苫小牧市立病院経営改革評価委員会

# 目 次

・はじめに .....	1
・第1章 経営改革プランに対する評価 .....	2
第1節 委員会評価及び意見 .....	2
(1) 項目Ⅰ 経営指標に係る数値目標 .....	3
(2) 項目Ⅱ 経営効率化のための具体的な取り組み .....	4
(3) 項目Ⅲ 各年度の収支計画 .....	7
第2節 今後の病院経営に対する提言 .....	9
(1) 病院のあるべき方向 .....	9
(2) 経営体質の強化 .....	10
・第2章 望ましい経営形態について .....	11
(1) 経営形態の検証 .....	11
(2) 今後の経営形態 .....	11
<b>【付属資料】</b>	
・委員名簿 .....	12
・会議開催の状況 .....	13

## はじめに

本委員会は、平成 21 年 2 月に策定された「苫小牧市立病院経営改革プラン」に示された各年度の計画における進捗状況を、外部委員で構成する評価委員会で検討するとされたことに基づき組織された第三者委員会である。

本委員会では、改革プランに示された平成 20 年度経営実績及び各種の取り組みにおける病院の自己評価に対する評価及び経営形態の見直しについて、病院から資料提供・説明を受けて、審査を行った。

平成 20 年度の経営指標及び各種取り組みについての本委員会の評価は、全体を通じ概ね高く評価することになったが、改革プラン自体が平成 20 年 12 月までの実績を踏まえ作成されているものであることから 20 年度の計画と大きな乖離がないのは、策定経緯から当然の結果であると受け止めている。

経営形態の見直しについては、地方公営企業法の全部適用の是非について検討することとし、全部適用に移行した道内市立病院の経営成績状況、全部適用でなければできない経営対策、苫小牧市立病院の経営改善の見通し及び市長と病院長の意思疎通関係等を確認して現時点での経営形態のあり方を検討し、本委員会としては「一部適用の継続」とする結論に至った。

自治体病院を取り巻く環境には厳しいものがあるが、今後とも東胆振・日高地区の中核病院として専門性の高い医療体制を確保しつつ収支改善と経営自立を図るという目標に向かって着実に前進することを期待する。

平成 22 年 2 月

経営改革評価委員会  
委員長 水元修治

## 第1章 経営改革プランに対する評価

### 第1節 委員会評価及び意見

病院は、経営改革プランに対し以下の基準で自己評価していることから、対比を明確にするため本委員会においても同一の基準に基づき評価した。

- A：目標を余裕を持って達成し、付加価値が生じた。
- B：プランの目標値は達成した。
- C：プランの目標達成に向けて取り組みはしているが、現状未達成である。
- D：プランの目標達成に向けて取り組めていない。
- E：検討されていない。

本委員会の評価及び意見は、3～8ページに示したとおりである。

(1) 項目 I 経営指標に係る数値目標

【財務に係る数値目標】

項番	項目	19年度実績値	20年度見込値	20年度実績値	21年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	意見
1	経常収支比率 (%)	89.9	92.7	93.6	97.4	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。 22年度においては本計画通りの経常黒字化達成を期待する。
2	職員給与費対医業収益比率 (%)	52.7	51.5	51.2	49.2	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。 医療スタッフ確保が困難な環境でこの指標を達成することは相当の努力が必要と考えられるが、医業収益の更なる増収等の取り組みにより目標値が達せられることを求める。
3	材料費対医業収益比率 (%)	29.1	28.2	26.7	26.2	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。 材料費(薬品、診療材料)購入額の更なる削減に取り組まれることを期待する。
4	一般病床利用率 (%)	86.6	86.2	86.9	86.6	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。 20年度において21年度目標値を超えて達成していることは評価できる。
5	入院患者1人1日当たり収入額 (円)	42,287	44,122	43,807	46,834	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。 診療単価の増加は収益に大きく関わる要素であり、21年度において目標値の達成を求める。
6	外来患者1人1日当たり収入額 (円)	7,885	8,571	8,679	8,679	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。 20年度において21年度目標値に達していることは評価できる。

【その他の指標】

項番	項目	19年度実績値	20年度見込値	20年度実績値	21年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	意見
7	紹介患者数 (人)	7,023	7,670	7,537	7,900	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。 本計画の取り組みである地域医療連携ネットワークシステムの拡大等により、21年度において目標値の達成を求める。
8	救急患者数 (人)	14,550	10,620	10,469	10,410	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。 救急医療は医師をはじめとする医療スタッフにとって大きな負担となっていることは十分理解できる。地域の一次医療とのバランスを考慮しながら救急体制の維持が強く要望される。
9	手術件数 (件)	2,121	2,230	2,381	2,300	A	B	病院評価はAであるが、診療科別の件数など具体的な内容が示されていないため、診療単価や医業収益に対する影響が評価できなかったことにより、評価をBとする。 麻酔医の維持・確保により手術件数の増加を期待する。

(2) 項目Ⅱ 経営効率化のための具体的な取り組み

【医療提供の充実】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
1	外来診療体制の強化	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。今後とも医師の確保を図りより専門性の高い医療の提供や待ち時間短縮に取り組まれることを期待する。
2	がん診療の充実	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。高齢化の進行に伴うがん患者数の増加に対応した受け入れ態勢の充実を求める。
3	放射線治療の開始	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。放射線治療医の常勤配置に向けた取り組みの強化を求める。
4	助産師外来の開始	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。妊婦さんの出産に対する不安解消等、精神的ケアの効果が大きいことは評価できる。今後とも助産師の確保を図り継続されることを期待する。
5	専任看護師の配置	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。計画的な専任看護師の育成・配置・確保の取り組みの継続を求める。
6	救急医療体制の強化	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。21年度に薬剤師の24時間体制ができたことは評価できる。放射線部門は、現状の23時以降のオンコール体制を22年度中に奇数日24時間体制の実現に取り組むことを求める。
7	リハビリテーション体制の強化	20年度～	B	C	病院評価はBであるが、言語聴覚士の採用が未達成であることを加味して、評価をCとする。早期に達成されることを求める。
8	地域医療連携ネットワークシステムの拡大	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。今後、目標値を定め計画的なネットワークシステムの拡大に取り組むことを求める。

【収入の増加】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
9	7:1看護体制への移行	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。今後とも看護師の確保に努め、体制の維持を期待する。
10	小児入院管理料2の算定	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。今後とも医師及び看護師の確保に努め、体制の維持を期待する。
11	入院時医学管理加算の算定	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
12	特定集中治療室管理料の算定	21年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。早期に体制を整備し、実現することを求める。
13	DPC請求の開始	21年度～	A	B	病院評価はAであるが、制度の効率的な運用においてさらなる改善の余地が認められることから、評価をBとする。なお、診療内容の質の低下を招かないよう適切な運用を求める。
14	人工透析の拡大	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。なお、説明ではまだ拡大できる余地はあるとのことなので、施設の有効活用に取り組むことを求める。
15	査定対策の充実	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。

【経費の節減】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
16	職員給与の適正化		D	D	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。市全体としての問題であることは理解できる。今後、改善に向けた取り組みを求める。
17	診療材料費の削減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。今後ともさらなる購入額の削減に取り組むことを求める。
18	後発医薬品の採用拡大	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。今後とも採用拡大に取り組むことを求める。
19	光熱水費を削減	20年度～	A	B	病院評価はAであるが、OA機器の節電に努めるなど、さらなる改善の余地はみとめられるため、評価をBとする。
20	産業廃棄物処分手数料を削減	20年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。早期にVRE発生などの要因と取り除き、更なる削減に取り組むことを期待する。
21	コスト意識の醸成	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。経営状況について定期的に説明会を開催するなど職員周知に取り組むことを求める。

【患者サービスの向上】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
22	患者意見の反映	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。今後とも改善事例の拡大に取り組むことを期待する。
23	患者満足度調査の継続実施	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。外来待ち時間の短縮に関しては一定の努力は認められるが、より一層の改善を期待する。
24	接遇研修の実施	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
25	病院広報誌の発行	21年度～	C	D	病院評価はCであるが、具体的な取り組みがみられないため、評価をDとする。21年度中の達成を求める。

【人材の確保】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
26	医師確保の取り組み	20年度～	B	A	病院評価はBであるが、医師不足による地域医療の崩壊が各地で起こっている状況の中で、他の公立病院と比較して医師確保が出来ていることは十分評価できるため、評価をAとする。
27	看護師確保の取り組み	20年度～	B	A	看護師確保が難しい中、各種の取り組みにより看護師が充足できていることからA評価とする。今後とも取り組みを継続することを期待する。
28	医師の事務負担を軽減	20年度～	B	C	病院評価はBであるが、医療事務補助者の配置が一部診療科に留まっていることから、評価をCとする。今後、計画的な医療事務補助者の配置を求める。
29	院内保育所の24時間化	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。看護師の就労環境整備の一環として効果があるものと理解した。今後、より一層の保育体制の充実を図り、離職及び早期復職対策の一助となることを期待する。
30	研修の強化	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
31	事務プロパー職員の採用検討	20年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。早期に結論を出すよう求める。

【経営体制の強化】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
32	地方公営企業法の全部適用を検討	21年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。本評価委員会の意見を踏まえ、適切な判断がなされることを望む。
33	組織の見直し	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。



(3) 項目Ⅲ 各年度の収支計画

【収益的収支】

(単位:千円)

項番	項目	19年度実績値	20年度見込値	20年度実績値	21年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	意見
1	病院事業収益	7,842,057	8,369,949	8,398,352	8,785,196	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
2	医業収益	7,295,106	7,604,936	7,624,666	8,030,009	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
3	うち入院収益	5,069,294	5,247,807	5,255,171	5,596,683	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
4	うち外来収益	1,864,089	1,923,973	1,944,748	1,974,511	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
5	医業外収益	512,218	592,321	600,994	582,495	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
6	特別利益	34,733	172,692	172,692	172,692	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
7	病院事業費用	9,120,310	9,856,061	9,785,840	8,860,393	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
8	医業費用	8,208,186	8,521,312	8,457,849	8,515,249	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
9	うち職員給与費	3,841,978	3,913,911	3,899,712	3,952,555	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
10	うち材料費	2,123,383	2,144,397	2,137,197	2,103,900	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
11	医業外費用外	481,068	322,146	322,895	323,644	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
12	特別損失	431,056	1,012,603	1,005,096	21,500	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
13	経常収支	△ 881,930	△ 646,201	△ 562,893	△ 226,389	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
14	当年度純損益	△ 1,278,253	△ 1,486,112	△ 1,386,522	△ 75,197	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
15	利益剰余金又は累積欠損金(△)	△ 4,570,667	△ 6,056,779	△ 5,957,189	△ 6,131,976	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。

【資本的収支】

(単位:千円)

項番	項目	19年度実績値	20年度見込値	20年度実績値	21年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	意見
16	資本的収入	852,360	1,631,207	1,629,707	704,747	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
17	うち企業債	425,200	998,100	996,600	28,500	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
18	うち他会計出資金・負担金	427,090	610,393	610,394	676,247	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
19	資本的支出	1,329,318	1,009,994	1,005,495	1,069,585	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
20	うち建設改良費	435,904	70,273	65,784	34,500	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
21	うち企業債償還金	893,414	939,711	939,711	1,035,085	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
22	収支差引	△ 476,958	621,223	624,212	△ 364,838	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。

## 【単年度資金収支ほか】

(単位:千円)

項番	項目	19年度実績値	20年度見込値	20年度実績値	21年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	意見
23	単年度資金収支	△ 1,123,777	423,499	525,116	28,618	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
24	累積資金収支	△ 1,557,173	△ 1,133,674	△ 1,032,057	△ 1,105,056	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
25	一般会計繰入金	914,793	1,333,303	1,333,303	1,402,361	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。

## 【その他】

項番	項目	19年度実績値	20年度見込値	20年度実績値	21年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見		
							評価	意見	
26	経常収支比率%	89.9	92.7	93.6	97.4	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。	
27	職員給与費対医業収益比率%	52.7	51.5	51.2	49.2	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。	
28	材料費対医業収益比率%	29.1	28.2	26.7	26.2	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。	
29	資金不足比率%	21.3	14.9	13.2	13.8	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。	
30	患者数	人	119,877	118,938	119,958	119,500	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
31	1日当たり患者数	人	328	326	329	327	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
32	病床利用率	%	86.6	86.2	86.9	86.6	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
33	診療単価	円	42,287	44,122	43,807	46,834	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
34	患者数	人	236,381	224,474	224,039	227,500	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
35	1日当たり患者数	人	969	920	918	936	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。
36	診療単価	円	7,885	8,571	8,679	8,679	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し病院評価を了承する。

## 第2節 今後の病院経営に対する提言

### (1) 病院のあるべき方向

#### ア 地域連携と医療支援

苫小牧市立病院は、東胆振及び日高圏域における急性期医療を提供する中核病院の役割を担っている。地域連携・相談室を設置して圏域の医療機関との関係を強化し、手術や入院治療を必要とする紹介患者の受け入れ促進と急性期を脱した患者の逆紹介を行っているが、今後、より円滑に行われるよう取り組む必要がある。

また、医療提供機能のさらなる充実に努め、連携強化を通じて地域医療を支援する病院としての役割を高めるべきである。

#### イ 人材の確保と育成

医師や看護師の確保と職員研修の充実を図り医療提供体制の安定化と質の向上に努める必要がある。

また、医師の離脱による医療崩壊を招かないよう医師へのさらなる負担軽減を図られると共に看護師の離職防止のため院内保育所体制の充実などに努めるべきである。

#### ウ 利用者の声

現在行われている患者や利用者からの意見聴取の取り組みを継続し、改善を要する事項については迅速に対応されるよう期待するものである。

また、患者満足度調査や外来待ち時間調査を継続して実施し、医療サービスの質の向上に反映させる必要がある。

#### エ 情報の開示

病院が有する情報は、保護されるべきものを除き積極的に公開すべきである。現在のところ、ホームページの活用を主たるものとしているが、インターネット環境にない方も多いため、一般向けの広報誌を作成するなど一層の情報公開と伝達に配慮すべきである。

## (2) 経営体質の強化

### ア 収益の増加

新病院移行後に各種の取り組みを行い、順調に収益を伸ばしてきたことは評価できる。

平成 22 年度は隔年実施の診療報酬改定年であるが、改定項目に速やかに対応し、新たな報酬基準は内部で検討の上、算定が可能となれば取得に向けて迅速に体制整備を行う必要がある。

### イ 費用の削減

費用の最大は人件費であるが、人材投入が収益増加に大きく関わる現状もあることから、単純な抑制は採用すべきでない。改革プランでは、職員給与の適正化を掲げているが、これは市全体として取り組む課題であり一般部局との連携を図りながら進める必要がある。

材料等の費用削減のために外部コンサルタント会社を導入しているが、今後ともその活用を図ると共に他病院との情報交換に努めながら、一層の削減により病院経営体質の強化に努めることを望むものである。

## 第2章 望ましい経営形態について

### (1) 経営形態の検証

- ア 本委員会は、「地方公営企業法の全部適用」の是非について協議を行った。
- イ 近年、全部適用に移行した道内市立病院の経営状況は、概ね好転しているが、苫小牧市立病院の伸びを上回るところはなく、むしろ病院長を事業管理者（特別職）としたことによる院外業務の増や労務管理などの新たな業務の増加によるデメリットも見受けられる。
- ウ 現在の制度と運用では、全部適用に移行しなければできない経営対策はないと判断した。
- エ 苫小牧市立病院の経営状況は、徐々に改善しており今後の見通しでも改善の方向が示されている。
- オ 市長と病院長は、病院経営等に関し意思疎通が図られている。

### (2) 今後の経営形態

- ア 以上の検証の結果、「地方公営企業法の一部適用」を継続するとの結論に至った。
- イ 経営状況の好転の見通しを失った時点においては、適時的確に見直しの判断をする必要がある。
- ウ 総務省が示した自治体病院の地方独立行政法人化、指定管理者制度導入及び民間譲渡については、現在は参考となる先例数は多くないが、今後個別事例を十分に検証する必要がある。

## 【付属資料】

## 委員名簿

区分	所 属	役 職	氏 名	備 考
医療関係機関	社団法人 苫小牧市医師会	顧問	水元 修治	委員長
	財団法人 苫小牧保健センター	理事	畔蒜 正義	
	北海道胆振保健福祉事務所 苫小牧地域保健部	次長	江上 洋行	
経済関係機関	苫小牧商工会議所	副会頭	阿部 喜朗	
	苫小牧信用金庫	常勤理事	石田 芳人	副委員長
	社団法人 苫小牧青年会議所	理事長	上田 弘政	※苫小牧青年会議所は、平成22年1月1日付で役員の変更を行うが、その後も「直前理事長」の立場で引き続き委員となる。
学識経験者	苫小牧駒澤大学	教授	佐藤 郁子	
	苫小牧消費者協会	会長	橋本 智子	

## 【参考】

事務局	苫小牧市	副市長	中野 裕隆	
	市立病院	院長	藤咲 淳	
		事務部長	福島 修	
		部次長	萩原 敏彦	
		医事課長	木戸 克史	
			財務係	庶務担当

## 会議開催の状況

	開催月日 開催場所	議事内容等
第1回	10月14日 市立病院講堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員委嘱状交付</li> <li>・委員長及び副委員長選任</li> <li>・病院事業概要及び評価項目等に関する説明 ほか</li> </ul>
第2回	10月28日 市立病院講堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改革プラン評価項目説明と質疑応答 ほか</li> </ul>
第3回	11月16日 市立病院講堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改革プラン評価項目説明と質疑応答</li> <li>・評価委員会の評価・意見の取りまとめについて</li> <li>・地方公営企業法全部適用の是非に関する概要 ほか</li> </ul>
第4回	11月25日 市立病院 応接会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価項目に対する委員会の評価・意見について</li> <li>・経営形態の見直しについて</li> <li>・中間報告について ほか</li> </ul>
第5回	1月18日 市立病院講堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会評価報告書について</li> <li>・評価委員会の今後の予定について ほか</li> </ul>
第6回	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改革プラン評価報告書の最終決定について</li> </ul>